（別紙4（2））

事業所名：認知症対応型共同生活介護　つつじの里

目標達成計画

作成日：　令和　3　年11　月　11　日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	グループホームのスタッフ各々が担当として家族と関わる機会を持ち支援につなげたい。様子等を家族へ伝えながら家族が安心できるよう努めて行きたい。	定期的に利用者様の普段の様子等を家族へ伝えながら、要望、意見等連絡調整行い、相互の信頼関係を築きたい。	・各居室を担当するスタッフで健康面等、普段の様子を伝える。写真等の活用。家族と意思疎通を図る。（2ヶ月毎、ホームでの利用者様の状況や出来事等を家族へ郵便物として送ったり、電話等）。 ・コロナ禍の状況を見守りながら、面会の緩和（委員会等を含む）、電話、外出等への支援方法を随時検討する。	12ヶ月
2	33	利用者様のADLレベル低下や状態変化等により、医療との連携が強くなってきた時、本人・家族への支援及び医療との連絡調整がスムーズに行かない。	協力医療機関等と連携のもと、本人、家族と意思疎通を図り、状態に応じて早急な支援へとつなげたい。	・医療機関等との普段から関わり、日々の状態観察をする。 ・家族との連絡体制を支援する。状態観察、経過報告、医療機関との連携。 ・定期及び状況に応じて家族との連携体制を図る。 今後の方向性を見出せるようにする。	3ヶ月
3	2	地域の中にあるグループホームとして関わりが持てていない状況がみられる。協力体制を築いてつながりを持ちたい。	地域との交流を持つことを心がけながら関わりを持ち、信頼関係、協力体制が築ける。	・月一回法人で地域の清掃活動を行う。 ・地域への催し、行事等への参加。 ・散歩等行い、顔見知りの関係を築きたい。 （公園、図書館、買い物、散髪等9	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。